



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸イ言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edupref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

12月の行事予定

1	月	卒業考査(1日目)
2	火	卒業考査(2日目) 中間考査(1日目)
3	水	卒業考査(3日目) 中間考査(2日目)
4	木	卒業考査(4日目) 中間考査(3日目)
5	金	月曜の授業
6	土	悠学講座⑦
7	日	
8	月	1・2年クラスマッチ
9	火	学年朝会 学校安全の日
10	水	職員研修 40分7限授業
11	木	
12	金	ピプリオバトル
13	土	
14	日	郷中ゼミ(2年)
15	月	全校朝会 第6回職員会議
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	悠学講座⑧
21	日	
22	月	学年朝会
23	火	天皇誕生日
24	水	センター壮行会 大掃除 実力考査時間割発表
25	木	冬季悠学講座
26	金	冬季悠学講座
27	土	3年センタープレ
28	日	3年センタープレ
29	月	
30	火	
31	水	



まずは一言、三学年部の職員として、また、先月行われた「三年生を激励する会」の係として生徒の皆さんにお礼を述べておきます。当日の全校生徒の立派な鑑賞態度はもちろん、三激会に向けて早くから準備にあたってくれた生徒会執行委員、三激歌の模範合唱を示してくれた音楽部、進行をしてくれた放送部、そして、三年生に向けてメッセージを寄せてくれた一、二年生に心から感謝します。

とりわけ、今年創立百二十周年の節目の年ということ、三激会のテーマ曲「風になれ」を歌うという企画を実施してみましたが、もともと難しい曲であることに加えて、練習時間も短かったために、本番二日前の生徒集会でもほとんど声が出ていなかったと聞き、正直に言うと言ったように、本番の気持ちで一杯でした。しかし、本番

では大きな声でしっかりと歌ってくれました。ホール内に響く合唱に合わせ、ステージ横の放送室でも放送部の生徒たちが大きな声を出して歌っている姿に、涙が出そうなくらい感動し、改めて、鶴丸に流れる良い伝統を実感させてもらいました。本当に、ありがとうございます。

さて、皆さんは普段の学習を進める中で、「今学んでいることは、将来何の役に立つのだろうか」「自分は一体何のために学んでいるのだろうか」などと考えたことはないでしょうか。高校生という多感な時期に多くの疑問を持つのは当然です。同じような疑問を抱いて返って見ても、同じような疑問を抱いたことはよく覚えています。そこで、今そのように感じている人のために、私が鶴丸に赴任した年に三年生だった生徒で、現在、日本有数の大企業に勤めている、ある卒業生の話を紹介したいと思います。

彼が大学に進学して数年後に再会した際に、高校卒業後も、毎年前期試験が終わるとその年に受験された問題は必ず解いているという話をしてくれました。その理由は、大学で研究している問題には絶対的な答えはないので、本当にこれで正解なのだろうかと思ってしまうようになってしまったのに対して、大学受験問題は、解き方や表現の仕方はさまざまに存在していても、必ず正解が存在するので、その正解に辿り着いた時に達成感を感じ、安心できて嬉しかったと話してくれました。そして、そう実感できる自分の力、すなわち受験勉強を通して身に付けた力を衰えさせたくないとも言っていました。

私はこの話を聞いて、真の受験勉強とはどういうことかを教えられた気がしました。受験勉強とは、大学に合格することを最終目標としたものでは、ありません。人間社会における諸問題には、こうすれば誰もが幸せを感じることができるという絶対的な解決法が存在するとは限りません。しかし、正解が無

学は「楽」なり!
国語科 宮永 治



10月11日(土)本校を会場として文化祭が開催された。創立百二十年を記念した文化祭であることから「紐解く我等の軌跡」時を超えた想い 共鳴するとき」(考案者 松元香澄さん(26R)・馬場夏輝さん(17R))をテーマとして、鶴丸の文化の華を咲かせた。

ステージ部門では、放送部恒例の「からいも標準講座」を上演。職員や部活動生の迷答や珍回答に会場は大いに沸いた。21Rと26Rの演劇では「今」を精一杯に生きることの大切さを訴える内容を、日常生活の中での悩みや不安を解決しようとする意欲を熱演し、さらにはダンスや楽器演奏で盛り上げた。

百二十年の文化が花咲く
—第66回文化祭—

音楽部は素晴らしい歌声を、ダンス部はダイナミックで技量の高いパフォーマンスを披露し、会場を沸かせた。

書道部は迫力ある「書」を次々に披露し、演劇部は、オリジナルの台本による演劇で、舞台の面白さを十分に堪能させてくれた。その他、特別参加団体や幕間として参加した団体も、個性とアイデアあふれる演奏や演技で、終日体育館内は熱気に満ちていた。

ステージ部門の最後は吹奏楽部のステージで、バラエティに富んだ曲目とパフォーマンスでフィナーレを見事に飾った。会場は立ち見が多く出るほどの盛況で、後方の観客は設置されたステージを映し出すプロジェクタ画面で、生徒たちの熱演を鑑賞していた。



展示部門23Rの和歌の紹介は各クラスや文化系部活動の展示が披露された。クラス展示では、一学年は共通テーマ「百二十年の歴史と伝統をふりかえらる」の下、現在の過去・未来の様々な視点から鶴丸高校を見つめる企画展示で意趣に富んだものとなった。

さらには二学年ではクラスごとにさまざまなテーマを設定し、モニュメントや掲示の他、映像作品も上映するなど、創意工夫の凝った展示となっていて、多くの来場者が熱心に見入っていた。

魅力ある生徒会を目指して
—平成26年度後期生徒会発足—

生徒会長選挙において現職の松下源さんが投票による信任を得て前期に引き続き生徒会長に就任し、平成26年度後期生徒会が発足した。新役員は次のとおり



展示部門12Rのジオラマ「鶴丸高校」

生徒会他で展示された。クラスや文化系部活動の展示が披露された。クラス展示では、一学年は共通テーマ「百二十年の歴史と伝統をふりかえらる」の下、現在の過去・未来の様々な視点から鶴丸高校を見つめる企画展示で意趣に富んだものとなった。

現に向かつて過す三年生たちは、下級生からプレゼントされた、芸術に触れるひと時を満喫して、いよいよまた、全学年ぶりに、合唱の会もあつた。また、全学年ぶりに、合唱の会もあつた。また、全学年ぶりに、合唱の会もあつた。



10月29日(水)宝山ホールにおいて三学年を激励する会が行われた。第一部では、卒業生も含めた木管五重奏の演奏、第二部では卒業生が演出した原田十郎の朗読劇が上演された。日々進路実現に向けて、下級生からプレゼントされた、芸術に触れるひと時を満喫して、いよいよまた、全学年ぶりに、合唱の会もあつた。また、全学年ぶりに、合唱の会もあつた。また、全学年ぶりに、合唱の会もあつた。

励ます者励まされる者ともに文化の薫りを楽しむ
—三学年を激励する会—

一学年代表 盛満 眞一 (12R)
二学年代表 橋本 智也 (25R)
三学年代表 住吉 康大 (31R)

文化局長 谷口 宗軌 (22R)
書記総括 榊山 資之 (24R)
副会長 村谷 薫 (16R)
副会長 田中 大智 (24R)
体育局長 白男川 潤一 (24R)
体育局補佐 坂上 義実 (22R)

文化局長 谷口 宗軌 (22R)
書記総括 榊山 資之 (24R)
副会長 村谷 薫 (16R)
副会長 田中 大智 (24R)
体育局長 白男川 潤一 (24R)
体育局補佐 坂上 義実 (22R)